



COMPANY'S
CHALLENGE

NO.40



イタリア伝統的技法の紳士靴を 福岡から日本全国・海外へと発信

コルノブルウ

Corno blu合同会社 代表社員社長 清角 豊氏

せい がく ゆたか

【プロフィール】

広島県出身。建設コンサルタント会社を経て、イタリアの革工芸に関心を持ち単身イタリアへ。フィレンツェにて伝統的なハンドメイドシューズの手法とデザインを学び、2004年1月に縫靴店「Corno blu」を創業する。2018年7月、前年から進めていた海外進出にあたりCorno blu合同会社を設立。

技工を凝らした逸品で
顧客は日本全国へ

福岡市中央区桜坂の潇洒な通りの一角に、縫靴店「Corno blu」があります。工房を備えた店舗のショーウィンドウには、磨き抜かれ艶やかに輝く紳士靴が並びます。Corno blu 合同会社の代表社員社長で靴職人の清角豊さんは、約20年前に一念発起しイタリアへと渡りました。「靴はお客さま一人ひとりに合わせたものづくり。伝統的なイタリアの手工業での靴づくりに衝撃を受け、靴職人になることを決意しました」と清角さん。フィレンツェの靴職人ロベルト・ウゴリーニ氏に師事し、4年間にわたるストイックな修行期間を経て帰国。桜坂の地に店舗兼工房の

Corno bluを構えました。

ビスポークシューズ※1はデザインやサイズなどで選ぶ既製品と違い、顧客が求める靴のイメージを形にしていける。靴職人は顧客と話し合いながら、足の採寸に始まり、革の裁断・縫製など一針一針丁寧に靴を縫い上げていきます。その技工は素材選びからデザイン、靴のフィット感など細部にまで至り、一足の靴を完成させるまでに工程は200を超えるといわれ、それら複雑な工程をほぼひとりの職人が手がけています。そのため納品までには最短でも4ヵ月かかるのです。

清角さんが手がけるフルハンドメイドの紳士靴は26万円超と高価ではありますが、素材・デザイン・縫製と細部にまでこだわって設計され、末長く履

くことができる逸品として仕立てられているがゆえのこと。顧客は福岡に留まらず、東京や大阪をはじめ、日本全国に広がっています。

※1 顧客の足に合わせてオーダーメイドでつくる靴のこと

経験を生かして既製靴づくりへ
「靴を大切に」顧客需要を開拓

店舗兼工房を構えたあと、清角さんは百貨店やセレクトショップとのタイアップで新規顧客を獲得していくかわら、9年ほど前から既製靴の開発に着手しました。清角さんは「ビスポークシューズの需要を広げるには、良い靴を大切に履く購買層を増やしていくことが重要です。より購入しやすい価格帯の商品をつくるのが、良い靴を



1



2



3



4

1 使用する革にもこだわり、仲介業者を通さず清角さん自身がタンナー（なめし革業者）に発注し輸入している

3 店舗に備えられた工房で靴はつくられていく。足型は1点1点手で削り形成される

2 職人のこだわりが詰まったビスポークシューズ。デザインはもちろん履き心地なども追求

4 ビスポークシューズの工程は多岐にわたり、段階を踏んで靴の形に形成されていく

大切に履くということの導入になるのではないのでしょうか」と話します。手始めにこれまで測定した足のデータに基づき、より日本人の足にフィットするよう靴の木型の設計を見直しました。またデザインや価格帯に関しても、消費者の好みやニーズを探りました。

既製靴の量産化に対しては、グッドイヤーウエルト製法※2で製造することのできる工場とサンプル作成段階から綿密に話し合い、製品の問題点の改善や品質を向上させていきました。またさらに選択肢を増やし顧客ニーズに対応するため、革の素材や自由なデザインで注文ができる“メイド・トゥ・オーダー”というシステムも構築。加えて靴のフィット感をアップさせるため、サイズは通常の靴における5mm間隔から2.5mm間隔とし、木型の修正や中敷の調整など細部にまでこだわったといいます。

※2 手縫いの製法を元に機械化された靴の製法。耐久性や防水性が強く、紳士靴の基本的な製法とされている

Instagramによる 情報発信で海外進出

顧客の開拓という課題において、

「靴を大切に履く」という靴文化を形成しながら顧客の“裾野”を広げていくほかに、自ら情報を発信することが重要だと清角さんは話します。「開店当時はいわゆるブログ黎明期でした。靴づくりの工程や完成した靴の写真をブログで発信していましたが、思いのほか反響もあり、徐々に顧客は広がっていきました」。

また現在でも新規顧客獲得につながる手軽なツールとしてSNSを活用しています。「SNSのなかでも、商品イメージを発信しやすいInstagram（インスタグラム）が注目されています。イメージ画像を主体とするSNSですが、商品イメージを写真でダイレクトに発信することで、海外の方にも商品の良さが伝わりやすいのではないのでしょうか」。2017年にはシンガポールの企業と大口の既製靴の取引がスタートし、2018年からは香港のセレクトショップに出品。また韓国や台湾からの観光客の来店も増えています。

そうした顧客の世界への広がりを受け、海外企業との商談をより円滑に進めていくために2018年7月にCoruno bluを法人化。「実際に顧客を開拓でき

た香港やシンガポールにおいて、日本製の靴の進出は少ない状態です。これからは日本製品が高く評価される地域に対しては、積極的に商品をPRしていきたいと考えています」と清角さん。また「自分に合った靴を大切に履きたいという方は、ぜひ相談に来てください」と地元福岡の顧客も忘れません。

イタリアの感性を引き継ぎ、日本の福岡で育ったCorno blu。その確かなものづくりの技で、日本製の靴が世界に広がりつつあります。



Corno blu合同会社・清角縫靴店

〒810-0024 福岡市中央区桜坂1-8-12 1F
TEL 092-725-6740
<https://www.cornoblu.info/>